



田中 雅弘(チェロ)



長原 幸太(ヴァイオリン)



田村 響(ピアノ)

ピアノと 室内楽アンサンブル

2022年 **11.7** Mon 開場18:30
開演19:00

場所 **宇部市渡辺翁記念会館**

《演奏曲》

ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女
ベートーヴェン/ピアノソナタ第23番「熱情」
ショパン/ノクターン20番遺作、ワルツOp.34-1華麗なる円舞曲
ラブマニノフ/鐘
モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク
メンデルスゾーン/弦楽八重奏曲 変ホ長調Op.20

※出演者・演奏曲は変更になる場合がございます。

国内トップクラスの演奏家が集結！
特別編成による
ピアノと室内楽アンサンブル！

音楽と巡って見つけて
やまぐちの魅力



プレイガイド	宇部市文化会館、 宇部市文化創造財団チケットサービス(WEB)
一般発売	8月13日(土)9:00～
財団友の会先行予約	8月5日(金)9:00～17:00
チケット料金	全席指定席 一般/3,000円 (財団友の会会員/2,700円) 学生/1,500円

※未就学児入場不可
※障がい者に同伴の介助者1名まで無料
※県内2公演を割安で購入できるセット券を発売予定

【主催】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会/シンフォニア若国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

【共催】宇部市文化創造財団

【後援】山口県/山口県教育委員会/山口県文化連盟/宇部市/宇部市教育委員会/宇部日报社/FMきらら

※新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症により、やむを得ず、中止や内容の変更が生じる場合がございます。

お問い合わせ 宇部市文化創造財団
電話 0836 35 3355

ピアノと室内楽アンサンブル 出演者プロフィール



田村 響 (ピアノ)

2007年10月ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。
2009年2月ビュッセル指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行った他、これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティアカデミーフィル、神奈川フィル、仙台フィル、群馬などと共演。全国各地でリサイタルを行う。
室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演する。また、2019年3月にはマニエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たした。1986年愛知県安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水聖樹、クラウド・ソアレ、クリストフ・リースケの各氏に師事。これまでに3枚のCDをリリース。
受賞歴としては、2003年アリオン賞、第14回大幸財団丹羽奨励生、(財)江副育英会奨学生、2006年第16回演出音楽賞、2008年文化庁長官表彰、国際芸術部門、2009年第10回ホテルオークラ音楽賞、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞、2017年度京都市芸術新人賞などがある。京都市立芸術大学専任講師。



須田 祥子 (ヴィオラ)

桐朋学園大学を首席で卒業。第23回ヴィトリオ・グイ国際コンクールを始め多数のコンクールで第1位優勝。「報道ステーション」での生中継、「題名のない音楽会」や「らららクラシック」のヴィオラ特集でもそれぞれソロ演奏をフィーチャーされている。
現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席、客演奏者、アークロス弦楽合奏団首席奏者、洗足学園音楽大学非常勤講師を務める他、ヴィオラ演奏集団「SDA48」を主宰。
CD「ピオラは歌う」シリーズをリリース。2022年1月には、ヴァイオリニストの川田知子とCD「スターライト 〜ヴァイオリンとヴィオラの二重奏〜」をリリース。



長原 幸太 (ヴァイオリン)

広島出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を経て東京芸術大学入学。在学中、全額スカラシップを受けジュリアード音楽院で学ぶ。小6、中1と連続して全日本学生音楽コンクール全国第1位、13歳で第6回ヴェニエアフスキ国際ヴァイオリン・コンクール17歳以下の部第3位。17歳で第67回日本音楽コンクール最年少優勝、レウカディア賞、藤見賞、黒柳賞を受賞。12歳で東京交響楽団と共演したのを皮切りに、国内の主要オーケストラ、小澤征爾、故・ゲルハルト・ボッセ等多くの指揮者と共演。国内外の多くの音楽祭にも招かれ、リサイタル、コンチエルト、室内楽に出演し、絶賛を得る高い評価を得ている。サイトウ・キネン・オーケストラ(指揮 小澤征爾)のコンサートマスターも務める。広島市長賞、広島県教育長賞、広島ホームテレビ文化・スポーツ賞(最年少受賞)、東京芸術大学の福島賞、大阪市「咲くやこの花賞」、広島文化賞(新人賞)、「第21回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞」、「エネルギー音楽賞」など受賞多数。06年から12年まで大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター、14年10月より、読売日本交響楽団コンサートマスターを務める他、ソリスト、室内楽奏者、として国内外で活躍中。東京芸術大学、及び相愛大学の非常勤講師を務める等、後進の指導も行っている。リサイタルのライブ録音のCD「長原幸太ヴァイオリンリサイタル2013」を好評発売中。



林 康夫 (ヴィオラ)

福岡市出身。東京芸術大学卒業、同大学院修了。これまでにヴァイオリンを太田晴子、岸辺百雄、原田幸一郎、ヴィオラを菅沼洋二、玉置勝彦の各氏に師事。京都フランスアカデミーにてブルーノ・バスキエ、草津国際音楽祭にてセルジュ・コロの各氏による公開レッスンを受講。現在東京都交響楽団団員、オーケストラのほか室内楽や大学オーケストラのトレーナーとしても活動中。



岸本 萌乃加 (ヴァイオリン)

岡山県出身。「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」メンバーに選ばれ第2期、3期に参加。
東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京芸術大学を首席で卒業するとともに、アカンサス音楽賞及び三善地所賞受賞。また東京芸術大学大学院修士課程終了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。
宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第3位及び聴衆賞。東京音楽コンクール弦楽部門第1位。第86回日本音楽コンクール第3位。宗次弦楽四重奏コンクールにHONO Quartet で出場し第3位及びハイドン賞。秋吉台音楽コンクール弦楽四重奏部門第1位。ヤングブラッド国際音楽祭の日本代表として招聘されコンチエルトを演奏。またニュージャーランドへ親善大使として派遣され、クライスターチャーターでリサイタルを開催。新日本フィル、東京フィル、都響、日本フィルなどと多数協演。
2021年5月より読売日本交響楽団の次席第一ヴァイオリン奏者に就任。



田中 雅弘 (チェロ)

山口県防府市出身。東京芸術大学卒業。霧島国際音楽祭賞受賞。81年安宅賞受賞。第52回日本音楽コンクールチェロ部門第2位。第9回ガスパール・カサド国際チェロコンクール第3位。ユーゴスラビアにて、恩師ダニエル・シャフランの代理でリサイタルを行い、国際放送テレビにも放送され好評を博す。東京文化会館、カザルスホールなどでリサイタルを開催。第13回若い芽のコンサート出演、第9回チャイコフスキー国際コンクールチェロ部門ファイナリスト、ディプロマ賞受賞。NHK交響楽団、東京都交響楽団などと共演。2020年3月まで東京都交響楽団首席を務める。これまでに故郷江津、ハービー・シャピロ、ダニエル・シャフラン、岩崎光の各氏に師事。山口県芸術文化振興奨励賞受賞。アークロス弦楽合奏団として、第22回福岡県文化賞(奨励部門)を受賞。2020年度山口県文化功労賞を受賞。2021年4月より防府市音楽のまち創造プロデューサーに就任。現在、霧島国際音楽祭企画運営委員、防府音楽祭音楽監督としても活躍している。



田村 昭博 (ヴァイオリン)

山口県防府市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。第45回山口県学生音楽コンクール第2位(1位なし)。国立音楽大学卒業。これまでにヴァイオリンを故石井洋之助、野波健彦、石井志都子、荒井雅至の各氏に師事。2004年2月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在、同団第1ヴァイオリン奏者。硬派弦楽アンサンブル「石田組」、東京グランドノイズメンバー。また、埼玉県内の高等学校やユースオーケストラのトレーナー、その他室内楽、ライブサポート、音楽番組の収録など幅広く活動している。



長谷部 一郎 (チェロ)

1970年名古屋生まれ。4歳からチェロを始める。名古屋大学経済学部経済学科卒業。桐朋学園リリスト・ディプロマコース修了。第64回日本音楽コンクール第1位。96年よりサイトウキネンオーケストラに参加。新日本フィルハーモニー交響楽団フアンジュビラーを経て、現在東京都交響楽団員。



末廣 紗弓 (ヴァイオリン)

1993年東京都出身。4歳よりヴァイオリンを始める。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール2013にて特別賞受賞。2012年第33回草津夏季国際音楽アカデミーに参加し、サント・カプリロフ氏に師事。成績優秀者によるガラコンサートに出演。その他2013年モーツァルテウム音楽大学夏季国際音楽アカデミー、2014年ウィーン国立音楽大学夏季講習、2015年小澤征爾音楽塾等参加。2016年桐朋オーケストラアカデミー試験成績優秀者による学内リサイタル開催。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を卒業、同大学研究科を経て、桐朋オーケストラアカデミーを修了。ヴァイオリンを水野佐知香、加藤知子の各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団セカンドヴァイオリン奏者。



伊藤 珠里 (コントラバス)

福岡出身。16歳よりコントラバスを始める。福岡第一高校音楽科卒業。東京芸術大学音楽学部器楽科を卒業。
2008年、第13回コンセル・マロニエ弦楽部門に入選。同年、小澤征爾音楽塾オーディションに合格後、オペラプロジェクト喜劇「こもり」に参加。2009年、小澤征爾音楽塾オーケストラプロジェクト(中国公演)に参加。同年、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト歌劇「ヘンゼルとグレーテル」に参加。2013年、第18回宮崎国際音楽祭に出演。これまでにコントラバスを、吉浦勝吾、永島義男、黒木岩寿、河野泰則、石川滋、ヤン・サクサラの各氏に師事。現在、九州を中心としてオーケストラや室内楽や講師など幅広く活動している。
福岡/バッチレギウム室内合奏団、響ホール室内合奏団に所属。

宇部市渡辺翁記念会館

〒755-0041 宇部市朝日町8番1号

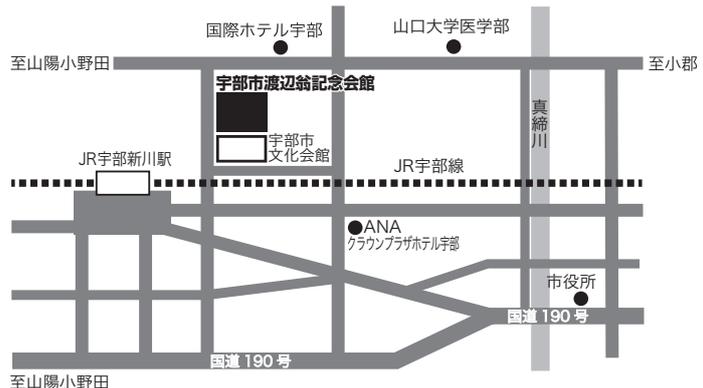
記念会館は著名な建築家、村野藤吾設計の傑作として国内外に広く知られた建造物で、平成9年6月には国の登録文化財、平成17年12月には国の重要文化財に指定されました。宇部市の貴重な文化遺産であり、文化芸術活動の拠点施設です。

アクセス

- 電車 … JR宇部新川駅下車 徒歩3分
- バス … 宇部新川駅バス停 徒歩3分
- 車 … 宇部 I.C. から約15分

※会場には十分な駐車場がございません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ 一般財団法人宇部市文化創造財団 ☎0836-35-3355



皆さまに安心してご来館いただけるよう
新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします。



マスクの着用



検温



手指の消毒



ソーシャルディスタンス



会話は控えめに